

“ネカ録”最新シリーズによる 遠隔・集中監視ソリューション

西村達夫*
内村誠之*

Remote and Centralized Surveillance Solutions with “NECAROKU” New Series

Tatsuo Nishimura, Seishi Uchimura

要旨

“ネカ録^(注1)”は三菱電機インフォメーションテクノロジー(株)(MDIT)が提供するネットワークカメラに対応した監視カメラ用録画・配信サーバである。カメラメーカーを選ばず自由に組み合わせて表示/録画が可能なこと、IP(Internet Protocol)ネットワーク経由での統合的な遠隔監視が可能であることを特長としている。今回、小規模から大規模システムまで幅広く対応できるよう機能強化を図った。

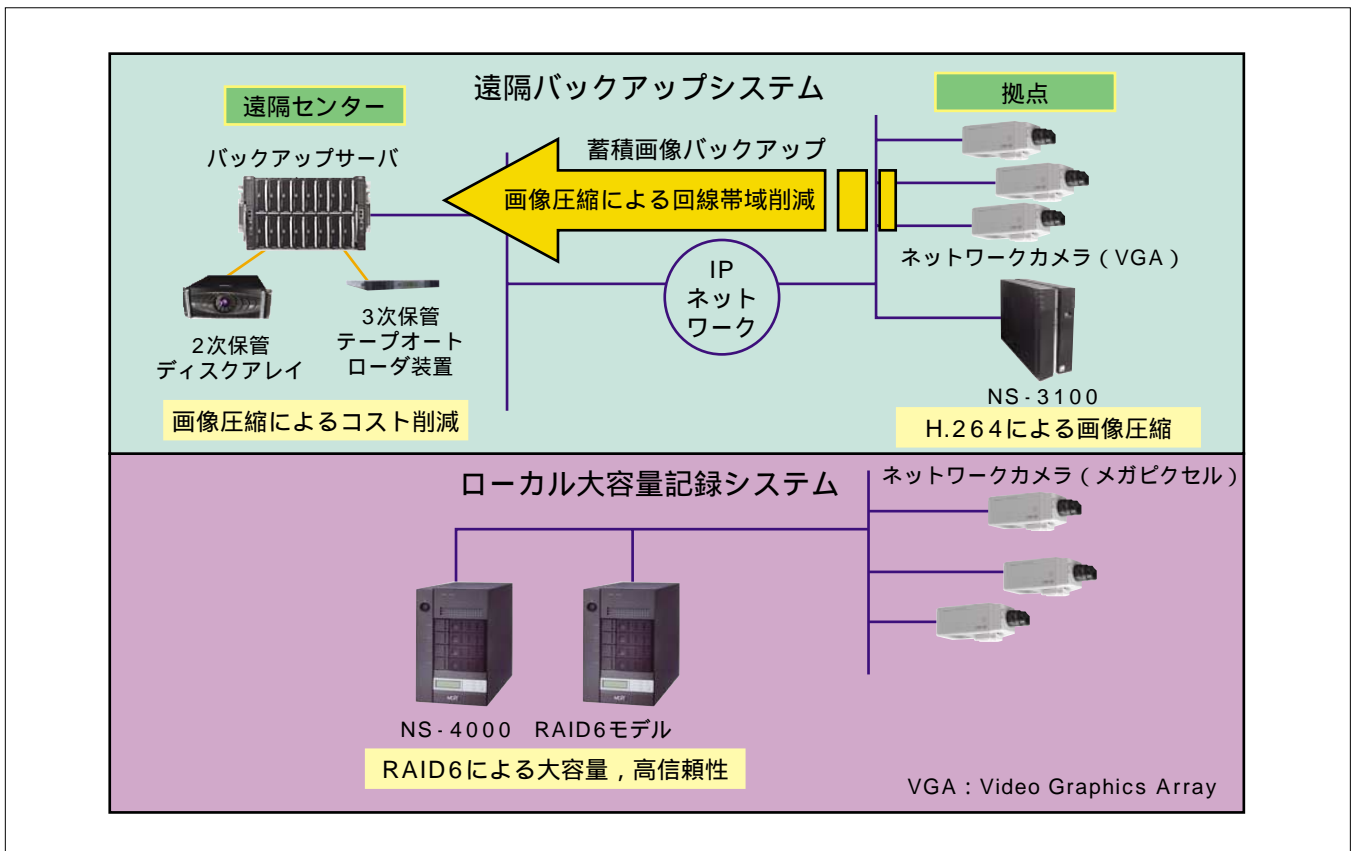
小規模な店舗でも複数台のカメラを設置するなどストレージの大容量化が進み信頼性の要求も高まっている。そこでRAID(Redundant Arrays of Independent Disks)を採用した大容量/高信頼ストレージを開発した。

適用領域の拡大に対応し、小規模システムではだれでも簡単に操作でき、大規模システムでは多数のカメラを容易に制御・監視できるスーパーマルチビューアを開発した。

また、画像の増加に対応するため最新画像圧縮技術MPEG(Moving Picture Experts Group)-4 AVC/H.264を採用した。これによって従来の4倍の圧縮率を実現し、ストレージコストや回線コストの削減を図った。

MDITでは、これらネカ録の特長を生かし、全国に展開する拠点の監視画像を、センターのテープ装置へ長期保存可能な遠隔センターバックアップシステムも多数構築している。

(注1) ネカ録は、三菱電機インフォメーションテクノロジー(株)の登録商標である。



ネカ録による監視システム構成例

遠隔バックアップシステムには、高速CPU(Central Processing Unit)を搭載し、MPEG-4 AVC/H.264トランスコードによる画像圧縮効率を向上した“NS-3100”を各拠点に設置して、回線帯域を削減、センターストレージコストを削減する。ローカル大容量記録システムではRAID6を採用した“NS-4000”によって大容量/高信頼システムを実現する。